

【掲示板】

《平成 22 年 10 月～12 月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 261 社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	72 社	神奈川県	37 社	中部日本	43 社	西日本	109 社
-----	------	------	------	------	------	-----	-------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	34 社	包装用容器・キャップ	43 社	電気・電子・通信部品	56 社
自動車・輸送機器部品	69 社	住宅関連	14 社	医療機器	7 社
その他	34 社				

3. 従業員数の内訳(パートを含む)

20 人未満	61 社	21～50 人	84 社	51～100 人	49 社	101～300 人	37 社
301 人以上	17 社						

4. 今期(平成 22 年 10 月～12 月)の自社業況について(前期比・前年同期比 %)

	平成 22 年 10 月～12 月(実績)					
	前期(22 年 7 月～9 月)比			前年同期(21 年 10 月～12 月)比		
1) 生産・売上高	1. 増加 27.2	2. 横這 37.2	3. 減少 34.9	1. 増加 37.2	2. 横這 28.4	3. 減少 33.0
2) 製品単価	1. 上昇 1.1	2. 不変 74.7	3. 下落 23.0	1. 上昇 3.4	2. 不変 64.8	3. 下落 29.9
3) 採算	1. 好転 15.3	2. 横這 50.6	3. 悪化 32.6	1. 好転 23.0	2. 横這 42.9	3. 悪化 31.4
4) 所定外労働時間	1. 増加 17.2	2. 横這 55.9	3. 減少 26.1	1. 増加 21.1	2. 横這 48.3	3. 減少 28.0
5) 製品在庫	1. 増加 17.6	2. 不変 57.5	3. 減少 24.1	1. 増加 18.4	2. 不変 52.5	3. 減少 26.4
6) 材料原料単価	1. 上昇 31.8	2. 横這 62.1	3. 下落 5.0	1. 上昇 44.1	2. 横這 49.8	3. 下落 3.8
7) 総合判断	1. 好転 13.8	2. 横這 52.9	3. 悪化 31.0	1. 好転 21.1	2. 横這 42.9	3. 悪化 32.2
8) 23/1-3 の見通し	1. 好転 14.2	2. 横這 46.0	3. 悪化 35.6	1. 好転 18.8	2. 横這 41.0	3. 悪化 33.0

5. 当面の経営上の問題(%)

1. 売上不振	2. 輸出不振	3. 製品単価安	4. 取引条件悪化	5. 過当競争	6. 輸入品との競合
54.8	1.9	46.4	7.7	19.5	10.7
7. 流通経費増大	8. 原材料高	9. 借入負担増	10. 貸渋り	11. 人件費高	12. 技能者不足
5.0	41.8	6.5	1.9	12.3	19.5
13. 技術力不足	14. マーケティング力不足	15. 設備過剰	16. 法的規制	17. 為替問題	18. 環境問題
13.4	9.6	3.8	2.7	9.6	1.9
19. 人材育成	20. 研究開発	21. 事業承継	22. その他		
31.0	8.0	7.3	2.7		

22. その他の意見：商品の模倣、円高による得意先の海外生産移管増、在庫圧縮、新規品・新企画少ない、客先の海外シフトによる売上減、設備の老朽化、設備(社内)不足

## 6. 皆様のご意見、ご要望

仕事が安定的に中小企業へ回るように、又単価面で赤字を余儀なくされるような受注状況をなくして欲しい。

業界を取り巻く環境は厳しい状況だが、前年業績が悪すぎたため、今年は売上 20% 増、営業利益 5% を達成。社員が将来に希望が持てる会社経営を目指したい。

2011 年 4 月以降、上向くとの情報があるが。

通算、営業利益を目指す。

自社商品開発。

国内の人口減少及び海外の生産能力向上による受注の減少に対応するため、今までの経営体制の全てを根本から見直す経営革新を進める。

デフレ、海外生産シフト。大変厳しい年となりそうです。

国会議員はもう少し景気対策をしっかりとやってもらいたい。大企業は海外に出ることばかりでなく、国のため（中小企業のためにも）社会奉仕や貢献を考えてもらいたい。

前半は黒字基調であった。車の補助金、家電のエコポイント。10-12 月は政策効果の解消で売上減少。1-3 月は売上減の見込み。

価格低下で、やってもやっても利益が出ない。日本国内ではもうダメ。

公共事業の発注が翌期にずれ込むため今期は低迷。

今の得意先を大事にすること。新規先はこの時期、うまくはいかない。

人材育成、技術力アップ、設備の充実等を推し進め、日本での生き残りのための準備を整えていく。

現地生産等による流通コスト並びにタイムラグを削減しようと海外進出大企業の調達方法に変化が見られる。来年度中には調達ルートも日系中小企業の進出全てでルートが固められるように思われる。

今までどおりでは先細り。新しい流れを作る年にしたい。

新卒者の採用に向けての準備を始める年。受注はまだ不透明。

不況脱出!

売上は増加しましたが、あくまでも前年比で絶対的な増大ではなく、まだまだ売上は不振です。

新年の見通しは厳しく特に中小企業は厳しい。

好転とはしたものの、最低の時との比較であるため、決して良い状況になったわけではない。

まだまだ辛抱をと、従業員や協力会社に言うことが辛い!

成形業者が年々減少傾向にあると実感する要因として、あらゆる新規取引が増加しているため（成形先が見つからない等）今後も生き残りをかけて激化するとみられる。

需要回復にはまだ時間がかかると思われる。効率化を一段と進めて、会社体質の強化をはかっていきたい。

15%の売上減で 11 月を終わり、なかなか難しい 23 年度となる感じです。

中国に新会社を設立するよう日本の企業より依頼あり（大企業の 100% 小会社があるため）。そこに当社が納入するため。いろいろと悩むこと多し。

工業会主導で異業種との交流の場を作ってもらいたい。プラスチック製品を従来の客にのみ売るのは先がないと思います。今までにやったことのないプラスチックと他の業種とのコラボレーションに活路があると考えます。

景気の動向は多少良くなって来ているとみるが、当社製品は泡出し容器のためあまり景気に左右されないため今年も好調であると考えられるが、単価の競争は厳しくなるため大変と思われる。

注文が減少してきています。

新しい年に入り社員一同品質向上と業績の向上に頑張るのみです。

弊社海外拠点（中国・上海、タイ・バンコク）の拡大策を積極的に進めるつもりです。

全てに於いて危機感を持って行動し、来期に向けて飛躍の年にしたい。

1 月より生産計画が微増しているが、機能部署からの生産応援で対応する。現状の厳しい環境でも利益の出る体制をとる。

明るく前向きに改善に取り組む。

厳しさが年々増して来ております。海外（グローバル化）の波はQCDに対し、CDQ?の順に変化する様が日本の製造業を厳しさへと追いやっている様に感じます。Japan Qualityに自信を持ちたいです。

現在、住宅エコ関連の生産が多くなっています。但し、来年以降は落下すると思われま

す。自主裁量環境を創り上げなければならない。

リーマンショック以降では、売上不振から脱却したばかりです。しかし4ヶ月以上先の見通しが立てづら

いところ、変革への模索、行動をしております。今年も厳しい1年となりそうですが、社員全員が一丸となり、英知を集結し、この難関を乗り切りたいと考えております。

戦略を絞り込み、効率的な運営に努めようと思っております。「鬼に角」こんな先の見えない時のエラーは許されません。守備を大事にも要点だと思

います。現状を認め更なる躍進のため全社一丸となって取り組む、あらゆる事を「出来る」の言葉の下に行動する、ルールと基準を守り前進する。

当社も代表会員が変わり、心機一転してこの難局を乗り切る覚悟です。

2011年度も厳しい経営環境に変わりないが、前向きに取り組みお客様との連携を強めて乗り切りたいと考えています。

作業を合理化し、自社の稼働日、時間の削減を検討する。派遣の人材に対する人件費削減、ペーパーレスの工夫や消耗品の仕入価格の見直しによる経費の節約に励みます。

市場活性化に向けて、一日も早く政治の決断を。又、手を打って頂きたい。

「NEXT STAGE」へ。

今年の業績が好転したのは、大半が海外（中国）向け。国内向け設備投資回復に期待する。

2010年はリーマンショック以来、若干の景気回復が見られたと感じる。2011年はこのまま景気が回復に向かう事を望む。

新規市場開拓。

ひたすら忍耐あるのみ。

自動車部品は好調の部類に入っていたら、先行の見えない超不安要素の部類に入ったと感じられます。

原油高による材料値上げが新年から打ち出される様子だが、今以上の値上げは受け入れ困難なので何らかのアピールが協会として出来ないか？（材料メーカーに）

生産力、品質の向上と人材育成に力を注ぎ、仕入（国内外）商品販売も取組み、20%以上の売上増を目標。

リーマンショックの影響も軽微で済み、本年夏頃までは何とか対昨年維持に努めてこれたが、秋から未だかつて経験したことのない売上不振に苦悩の最中です。営業的には新規開拓を含む増客活動、生産においては個人レベルまで目標設定を落とし込んで、難局を乗り切っていく所存です。引き続き2011年も宜しくお願い申し上げます。

お客様の海外生産が多品種小ロットまで進行してきた。日本での生産工場は必要ないのでしょうか。

不透明。政治の政策不況（経済の失敗）もあり来年度どの様になるのか全く見えない。

転業するか廃業する事を考えるか。

## 各分類ごとの業況判断(平成22年10～12月期 前期比)

数字はすべて前期比で、単純平均％で表示しております  
傾向がわかるように、値が50％以上の場合は網掛けを行っております

団体別	生産高・売上高			製品単価			採算			所定外労働時間			製品在庫			材料調達単価			総合判断			来期の見通し		
	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
東日本	30.6%	37.5%	31.9%	0.0%	72.2%	27.8%	19.4%	48.6%	31.9%	23.6%	50.0%	26.4%	22.2%	55.6%	22.2%	43.1%	56.9%	0.0%	15.3%	55.6%	29.2%	11.1%	52.8%	36.1%
神奈川県	27.0%	37.8%	32.4%	0.0%	73.0%	21.6%	16.2%	45.9%	29.7%	10.8%	51.4%	35.1%	16.2%	48.6%	35.1%	16.2%	70.3%	8.1%	13.5%	48.6%	29.7%	16.2%	40.5%	35.1%
中部日本	11.6%	41.9%	46.5%	0.0%	74.4%	25.6%	9.3%	51.2%	39.5%	11.6%	58.1%	30.2%	7.0%	65.1%	27.9%	20.9%	72.1%	7.0%	11.6%	48.8%	39.5%	14.0%	48.8%	32.6%
西日本	31.2%	34.9%	33.0%	2.8%	77.1%	19.3%	14.7%	53.2%	31.2%	17.4%	60.6%	21.1%	19.3%	58.7%	20.2%	33.9%	58.7%	6.4%	13.8%	54.1%	29.4%	15.6%	42.2%	36.7%

製品別	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
日用品・雑貨類	26.5%	44.1%	29.4%	0.0%	76.5%	23.5%	5.9%	55.9%	38.2%	5.9%	76.5%	17.6%	8.8%	58.8%	32.4%	44.1%	52.9%	2.9%	5.9%	55.9%	38.2%	5.9%	47.1%	44.1%
包装容器・キャップ	27.9%	41.9%	30.2%	0.0%	83.7%	16.3%	16.3%	51.2%	32.6%	18.6%	58.1%	23.3%	18.6%	60.5%	20.9%	27.9%	65.1%	7.0%	18.6%	53.5%	27.9%	20.9%	46.5%	30.2%
電気・電子・通信部品	23.2%	35.7%	39.3%	3.6%	71.4%	19.6%	16.1%	42.9%	33.9%	14.3%	41.1%	41.1%	21.4%	57.1%	19.6%	35.7%	55.4%	3.6%	17.9%	44.6%	30.4%	8.9%	39.3%	42.9%
自動車	18.8%	36.2%	44.9%	0.0%	68.1%	31.9%	11.6%	52.2%	36.2%	17.4%	56.5%	26.1%	13.0%	62.3%	24.6%	24.6%	66.7%	8.7%	8.7%	49.3%	39.1%	18.8%	42.0%	36.2%
住宅関連	50.0%	21.4%	28.6%	7.1%	64.3%	28.6%	35.7%	35.7%	28.6%	35.7%	50.0%	14.3%	35.7%	35.7%	28.6%	35.7%	64.3%	0.0%	7.1%	64.3%	28.6%	21.4%	42.9%	35.7%
医療機器	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%	71.4%	28.6%	28.6%	57.1%	14.3%	14.3%	71.4%	14.3%	14.3%	57.1%	28.6%	42.9%	42.9%	14.3%	42.9%	42.9%	14.3%	28.6%	42.9%	28.6%
その他	32.4%	41.2%	23.5%	0.0%	85.3%	14.7%	17.6%	58.8%	23.5%	26.5%	52.9%	20.6%	23.5%	52.9%	20.6%	29.4%	70.6%	0.0%	14.7%	64.7%	20.6%	8.8%	61.8%	23.5%

人数別	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
20人未満	21.3%	49.2%	27.9%	1.6%	82.0%	13.1%	13.1%	54.1%	27.9%	11.5%	52.5%	34.4%	16.4%	55.7%	26.2%	34.4%	60.7%	1.6%	11.5%	52.5%	31.1%	16.4%	49.2%	29.5%
21～50人	29.8%	36.9%	33.3%	0.0%	79.8%	20.2%	13.1%	54.8%	32.1%	21.4%	56.0%	22.6%	13.1%	63.1%	23.8%	28.6%	66.7%	4.8%	10.7%	58.3%	29.8%	14.3%	42.9%	39.3%
51～100人	26.5%	32.7%	38.8%	0.0%	65.3%	32.7%	22.4%	30.6%	44.9%	26.5%	49.0%	22.4%	32.7%	51.0%	14.3%	38.8%	53.1%	6.1%	18.4%	44.9%	34.7%	14.3%	51.0%	30.6%
101～300人	16.2%	29.7%	54.1%	0.0%	59.5%	40.5%	8.1%	54.1%	37.8%	2.7%	64.9%	32.4%	8.1%	59.5%	32.4%	24.3%	64.9%	10.8%	8.1%	51.4%	40.5%	10.8%	45.9%	40.5%
301人以上	35.3%	29.4%	35.3%	0.0%	82.4%	17.6%	17.6%	64.7%	17.6%	23.5%	52.9%	23.5%	17.6%	58.8%	23.5%	23.5%	76.5%	0.0%	17.6%	52.9%	23.5%	11.8%	47.1%	29.4%

## 各分類ごとの業況判断(平成22年10～12月期 前年比)

数字はすべて前期比で、単純平均％で表示しております  
 傾向がわかるように、値が50％以上の場合は網掛けを行っております

団体別	生産高・売上高			製品単価			採算			所定外労働時間			製品在庫			材料調達単価			総合判断			来期の見通し		
	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
東日本	41.7%	25.0%	33.3%	2.8%	69.4%	27.8%	23.6%	44.4%	31.9%	18.1%	54.2%	27.8%	23.6%	52.8%	23.6%	47.2%	52.8%	0.0%	22.2%	44.4%	33.3%	15.3%	52.8%	31.9%
神奈川県	37.8%	32.4%	27.0%	0.0%	67.6%	24.3%	18.9%	43.2%	24.3%	13.5%	45.9%	27.0%	13.5%	40.5%	35.1%	24.3%	62.2%	2.7%	16.2%	43.2%	24.3%	21.6%	32.4%	29.7%
中部日本	25.6%	23.3%	51.2%	4.7%	53.5%	41.9%	18.6%	37.2%	44.2%	18.6%	41.9%	39.5%	14.0%	58.1%	27.9%	39.5%	55.8%	4.7%	18.6%	34.9%	46.5%	16.3%	39.5%	37.2%
西日本	38.5%	31.2%	27.5%	4.6%	65.1%	28.4%	25.7%	44.0%	28.4%	26.6%	47.7%	23.9%	18.3%	54.1%	24.8%	50.5%	41.3%	6.4%	22.9%	45.0%	28.4%	21.1%	36.7%	33.0%

製品別	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
日用品・雑貨類	26.5%	29.4%	44.1%	5.9%	67.6%	26.5%	11.8%	50.0%	38.2%	11.8%	61.8%	26.5%	14.7%	55.9%	29.4%	50.0%	50.0%	0.0%	14.7%	47.1%	38.2%	5.9%	44.1%	47.1%
包装容器・キャップ	27.9%	30.2%	39.5%	2.3%	72.1%	23.3%	14.0%	48.8%	34.9%	14.0%	53.5%	30.2%	20.9%	53.5%	23.3%	46.5%	44.2%	7.0%	11.6%	53.5%	32.6%	18.6%	41.9%	32.6%
電気・電子・通信部品	39.3%	28.6%	30.4%	5.4%	67.9%	23.2%	28.6%	35.7%	28.6%	26.8%	35.7%	32.1%	21.4%	53.6%	19.6%	39.3%	53.6%	1.8%	25.0%	37.5%	28.6%	28.6%	32.1%	30.4%
自動車	37.7%	24.6%	37.7%	1.4%	58.0%	40.6%	26.1%	39.1%	34.8%	21.7%	47.8%	29.0%	10.1%	62.3%	27.5%	36.2%	58.0%	5.8%	23.2%	31.9%	42.0%	23.2%	36.2%	36.2%
住宅関連	50.0%	28.6%	14.3%	7.1%	35.7%	50.0%	35.7%	28.6%	28.6%	28.6%	50.0%	14.3%	28.6%	21.4%	42.9%	71.4%	21.4%	0.0%	21.4%	57.1%	14.3%	14.3%	50.0%	28.6%
医療機器	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%	42.9%	57.1%	28.6%	28.6%	42.9%	14.3%	57.1%	28.6%	28.6%	42.9%	28.6%	71.4%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	57.1%	28.6%	28.6%	28.6%
その他	52.9%	29.4%	14.7%	2.9%	76.5%	17.6%	20.6%	58.8%	17.6%	29.4%	44.1%	23.5%	26.5%	41.2%	26.5%	44.1%	50.0%	2.9%	23.5%	55.9%	17.6%	8.8%	55.9%	23.5%

人数別	増加	横道	減少	上昇	不変	下落	好転	横道	悪化	増加	横道	減少	増加	不変	減少	上昇	横道	下落	好転	横道	悪化	好転	横道	悪化
20人未満	29.5%	31.1%	37.7%	4.9%	72.1%	18.0%	18.0%	44.3%	29.5%	13.1%	49.2%	31.1%	14.8%	45.9%	31.1%	32.8%	59.0%	1.6%	18.0%	34.4%	37.7%	16.4%	42.6%	29.5%
21～50人	32.1%	32.1%	34.5%	3.6%	70.2%	25.0%	20.2%	47.6%	31.0%	13.1%	56.0%	29.8%	10.7%	67.9%	20.2%	40.5%	53.6%	4.8%	17.9%	51.2%	28.6%	17.9%	39.3%	36.9%
51～100人	42.9%	20.4%	34.7%	0.0%	59.2%	38.8%	24.5%	32.7%	40.8%	34.7%	36.7%	26.5%	36.7%	46.9%	14.3%	53.1%	40.8%	4.1%	24.5%	38.8%	34.7%	18.4%	53.1%	24.5%
101～300人	48.6%	13.5%	35.1%	2.7%	45.9%	51.4%	29.7%	35.1%	35.1%	27.0%	37.8%	32.4%	10.8%	43.2%	45.9%	56.8%	37.8%	5.4%	24.3%	29.7%	45.9%	21.6%	32.4%	43.2%
301人以上	41.2%	41.2%	17.6%	5.9%	58.8%	35.3%	29.4%	52.9%	17.6%	41.2%	41.2%	17.6%	29.4%	41.2%	29.4%	35.3%	58.8%	5.9%	17.6%	64.7%	11.8%	23.5%	35.3%	29.4%

## 全体および製品別分類ごとの経営上の問題点(平成22年10～12月期)

数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております

傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

経営上の問題点	売上不振	輸出不振	製品・請負単価安	取引条件悪化	過当競争	輸入品との競争	流通経費増大	原材料高	借入負担増	貸し渋り	人件費高	技能者不足	技術力不足	マーケティング力不足	設備過剰	法的規制	為替問題	環境問題	人材育成	研究開発	事業継承	
<b>製品別</b>																						
日用品・雑貨類	55.9%	2.9%	41.2%	11.8%	35.3%	20.6%	5.9%	52.9%	8.8%	2.9%	11.8%	17.6%	2.9%	8.8%	2.9%	0.0%	8.8%	0.0%	29.4%	5.9%	5.9%	
包装容器・キャップ	53.5%	0.0%	37.2%	2.3%	16.3%	14.0%	0.0%	58.1%	14.0%	0.0%	9.3%	16.3%	23.3%	18.6%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	27.9%	14.0%	4.7%	
電気・電子・通信部品	58.9%	1.8%	51.8%	10.7%	8.9%	3.6%	7.1%	28.6%	5.4%	7.1%	7.1%	26.8%	7.1%	7.1%	1.8%	0.0%	12.5%	3.6%	23.2%	1.8%	10.7%	
自動車	56.5%	0.0%	55.1%	4.3%	24.6%	7.2%	8.7%	36.2%	4.3%	0.0%	21.7%	18.8%	18.8%	8.7%	7.2%	5.8%	7.2%	2.9%	39.1%	5.8%	8.7%	
住宅関連	50.0%	0.0%	50.0%	7.1%	28.6%	21.4%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	21.4%	0.0%	7.1%	
医療機器	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	
その他	52.9%	2.9%	41.2%	8.8%	14.7%	8.8%	2.9%	32.4%	5.9%	0.0%	8.8%	23.5%	14.7%	2.9%	5.9%	2.9%	14.7%	0.0%	41.2%	14.7%	5.9%	
<b>人数別</b>																						
20人未満	57.4%	3.3%	37.7%	13.1%	9.8%	6.6%	1.6%	29.5%	6.6%	4.9%	8.2%	24.6%	9.8%	8.2%	8.2%	1.6%	4.9%	0.0%	21.3%	4.9%	8.2%	
21～50人	60.7%	0.0%	40.5%	8.3%	27.4%	14.3%	6.0%	40.5%	8.3%	1.2%	13.1%	16.7%	10.7%	9.5%	3.6%	3.6%	8.3%	1.2%	27.4%	6.0%	8.3%	
51～100人	51.0%	0.0%	57.1%	6.1%	18.4%	10.2%	8.2%	49.0%	6.1%	2.0%	16.3%	22.4%	22.4%	8.2%	2.0%	2.0%	10.2%	2.0%	38.8%	12.2%	10.2%	
101～300人	51.4%	2.7%	54.1%	2.7%	27.0%	10.8%	8.1%	48.6%	2.7%	0.0%	18.9%	21.6%	10.8%	10.8%	0.0%	2.7%	8.1%	2.7%	48.6%	8.1%	5.4%	
301人以上	41.2%	0.0%	52.9%	0.0%	11.8%	11.8%	0.0%	41.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	17.6%	5.9%	5.9%	0.0%	29.4%	11.8%	23.5%	17.6%	0.0%	